

日遊協が「7・20通知」で説明会

ファン雑誌7社に要請広告やイベント

日遊協は8月8日、パチンコ・パチスロファン雑誌7社の編集・広告担当者を集め、警察庁が7月20日付でホール関連5団体に出した通知「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について」の説明会を開いた。7社は、パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会を構成する(株)笠倉出版社、(株)竹書房、辰巳出版(株)、(株)双葉社、(株)プラントピア、(株)Tinkle & 出版と、「パチスロ必勝ガイド」などを発行する(株)ガイドワークスで、編集・広告担当者は計18人が参加した。

通知では留意事項の「(4) 広告及び宣伝の適正化に係る業界誌への協力要請について」の中で業界誌が関係する不適切な広告やイベント、掲載記事に言及し、内容の適正化について業界誌に協力を求めるよう、営業者関係団体が要請されている。今回の説明会になった。この日は篠原弘志日遊協専務理事が、「昨年6月に同様の通知が出ているが、今回1年で変更したの

は、一部ホールが通知の中のボーダー部分を拡大して、隠語の氾濫、また、「イベントは事実であれば構わない」というようなニュアンスの表現部分を悪用して、出玉や取材イベントで特定の日には「そこは出ますよ」と、いわば遊技機に手を加えるようなことを、隠語を使って示すような表現の拡大が見られたからだ。今回は、ボーダーの拡



雑誌社に趣旨を説明する篠原弘志専務理事

大について例示を増やして規制強化する意味合いを持っている」と、再規制が出された経緯を説明した。さらに同専務理事は、「私どもは皆様(ファン雑誌)を管理する立場にはないが、この経緯をご理解いただき、ご協力を求めるのが基本スタンス」とした上で、「皆様は直接対象にならなくても、ホールが場合により何らかの指導・指示を受けることがある。今まで曖昧だった点があり、ホールの一部には従来の認識が残っているとところがあるかも知れない。そういう意味で皆様のご理解をお願いしたい」と、適正化への協力を求めた。

この後、質疑応答を行い、さらに希望する社と個別に質疑時間を設けて対応した。

「ホールが本サービスを掲載する」ということは、単に広告活動をやるだけではなく、『きちんとした審査を受けよう』という意思表示にもつながっている。それはホールの遵法意識を一般消費者に伝えることになる上、ひいてはパチンコ業界全体の健全化へも結びつく」と確信する。

インターネット広告協議会 出稿中止や内容変更 警察庁通知の影響が出る

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が8月2日、日遊協本部会議室で開かれ、7月20日に警察庁から出された通知「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について」の影響等を協議

した。凸版印刷、IMC側から、通知の厳しい内容に対する警戒感から、ネットチラシ(パチンコのチラシ Powerd by Shufool)の利ユーザーの事前キャンセルや掲載後の削除希望が増えていることが報告された。

ネットチラシは昨年9月から電子チラシ広告のポータルサイト「Shufool」(凸版印刷(株)運営)に本格掲載された。同月の146枚を皮切りに、3月1532枚、4月1946枚、5月2152枚、6月2640枚と着実に伸びてきたが、集計中の7月実績は急ブレーキがかかること必至と協議会では見ている。

IMCは今回の警察庁通知後の7月25日、代理店各社に要旨次のような見解とお願いを発し、不安解消に努めた。

コンセプト機アンケート

80%以上に「好評」

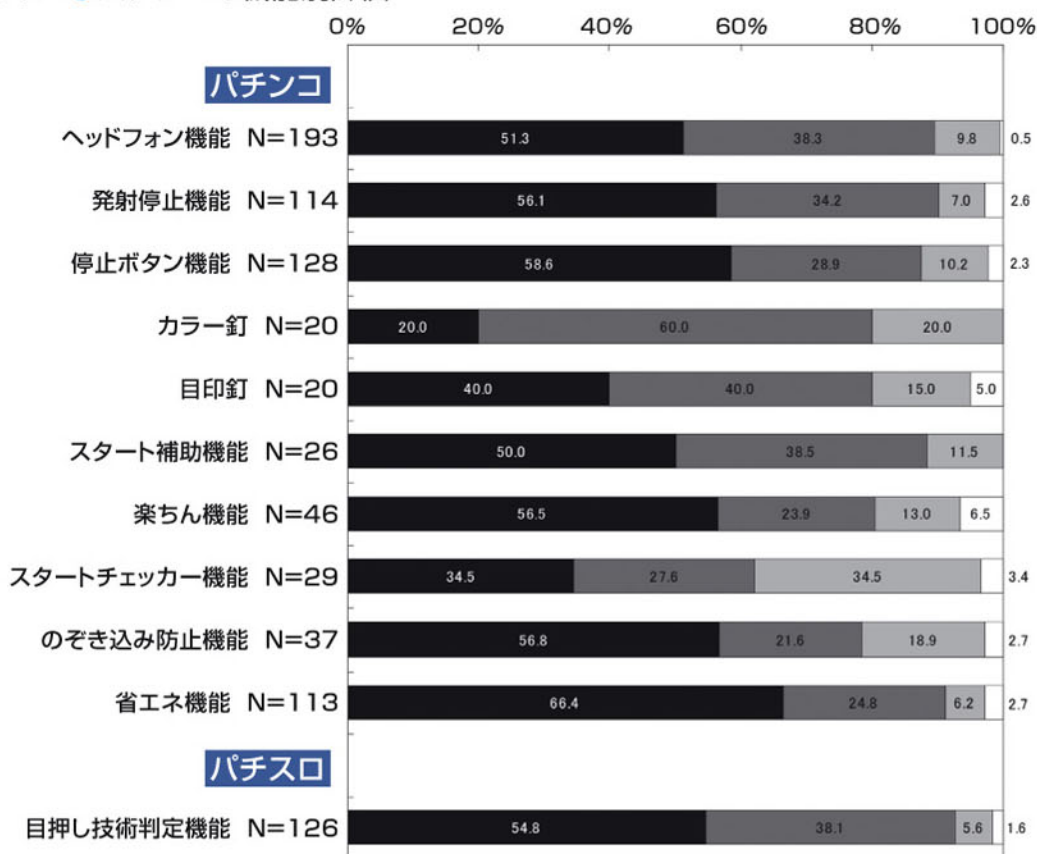
省エネ、停止ボタン機能など

フェスタ2012

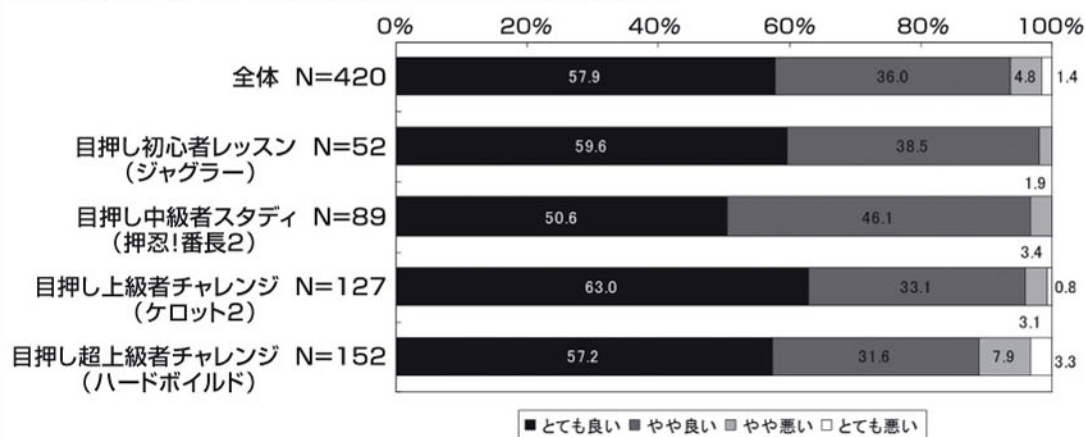
6月1、2日に東京・秋葉原で行われた日遊協主催「環境フォーラ

ム+もつと楽しく!! もつと遊べる!! パチンコ&パチスロフェス

グラフ1 ●パチンコの機能別評価



グラフ2 ●パチスロの機種別目押し判定機能の評価



タ2012」で、試打用に試作・展示されたコンセプト機に関する一般来場者のアンケート調査結果がこのほどまとまった。当日はパチンコ機、パチスロ機の現行機、コンセプト機、パロット機、雀球など計124台が展示され、この

うちコンセプト機としてはパチンコ機19台、パチスロ機31台が登場した。

コンセプト機はパチンコの「プレミアム海物語」(株三洋物産)など市場にある機種を改良したもので、機能内容はパチンコではヘッドフォン機能、発射停止機能、スタート補助機能、スタートチェッカー機能、のぞき込み防止機能、省エネ機能、カラー釘・目印釘などを、パチスロでは初心者、中級者、上級者、超上級者に向けて各目押し技術判定機能をそれぞれ付帯した。

目押し技術判定も評価

今回、コンセプト機に関してアンケートに答えた一般来場者は延べ601人(男性533人、女性68人)だった。このうち、パチンコのコンセプト機については、省エネ機能、ヘッドフォン機能、停止ボタン機能、発射停止機能などほとんどの機能で、「とても良い」「やや良い」の肯定派が80〜90%だった。スタートチェッカー機能については、肯定派は62%と総体的に評価が低かった。パチスロの目押し技術判定機能はいずれのラ

ンクでも」とても良い」「やや良い」を合わせて約9割が評価していた。

「既存のガラス」と「映り込み防止ガラス」の機械を並べて展示し、その違いを認識できるか質問したところ、半数が「はっきりと違いがわかる」と回答した。しかし、「あまり違いがわからない」「全く違いがわからない」を合計すると24%あり、4人に1人は「映り込

み防止ガラス」を評価していなかった。

回答者の性別は男性533人、女性68人。年代別に見ると男性は30代が205人、女性は20代が31人でそれぞれ最多だった。会場が秋葉原だったことから若年層(18~24歳)の来場が期待されたが、回答した若年層は男女合わせて98人で、20代後半(136人)を下回った。

子ども自然塾

参加親子を募集

社会貢献・環境対策委員会

社会貢献・環境対策委員会は、日遊協共生の森「子ども自然塾」の参加者を募集している。子どもたちに共生の森の自然を通じた学びから森林や自然環境に興味、親しみを持ってもらうために企画され、福島県双葉町から埼玉県騎西町に避難している家族も招待している。

【日程】10月27日(土) 8時30分集合〜15時30分

【集合場所】国立女性教育会館

(東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩10分)

【内容】共生の森で植林体験、自然探索、子ども樹木博士検定、工作教室(竹とんぼほか)、お菓子詰め放題ビンゴ大会など

【参加費】無料

【対象】日遊協会員企業の親子40組(かならず親子で)

【締切】先着順で、定員になり次第締め切り

【申込み】日遊協までファックス

(03・3553・4334)で、担当は山本

募集要項

回答者のプレイ頻度は、「月1回以上」がパチンコで77%、パチスロで70%と最多で、普段から遊技している層が回答していたとみられる。遊技経験はあるがここ1年間はパチンコ、パチスロともに遊技していない人は24人、遊技経験のない初心者者は23人と、いずれも全体の6%だった。

なお、フェスタの2日間の来場者全体では4626人(1日の業界関係者2143人、2日の一般ファン2483人)で、当初の予測・1日2000人を上回る盛況だった。(フェスタの概要、全体アンケートの結果等は7月号に既報)

貯玉補償基金理事会&臨時社員総会

「相談役の新設」を承認
被災ホールへ基金適用進む

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・深谷友尋日遊協会長)は8月8日、日遊協本部会議室で第43回理事会を開き、2つの議案を審議した。

第1号議案の「相談役の新設」、第2号議案の「東日本大震災被災加入ホールへの貯玉補償基金適用」の2件とも全会一致で承認された。報告事項として「貯玉補償基金

SEPTEMBER

9月の行事予定

6日(木)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(高松・マリンパレスさぬき)
7日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(高松・マリンパレスさぬき)
10日(月)	13:30~14:30	不正対策室会議
	15:00~17:00	ホール5団体風営法検討会WG
11日(火)	13:30~15:00	中古機流通PT
	15:30~17:30	店外オンラインPT
13日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(東京・都市センターホテル)
14日(金)	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
18日(火)	15:30~17:30	風営法PT
20日(木)	13:30~16:00	定例理事会(宮崎・シーガイアコンベンションセンター)
	16:30~20:00	秋季セミナー・懇親会(宮崎・シーガイアコンベンションセンター)
24日(月)		皇居勤労奉仕(27日まで)
25日(火)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(ニューオータニ博多)
	13:30~15:00	遊技機リサイクル推進委員会(日工組)
	15:00~17:00	遊技機委員会
26日(水)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(ニューオータニ博多)
27日(木)	11:00~	第6回遊技産業マネジメント・カレッジ(晴海グランドホテル)
	15:30~17:00	支部運営会議(晴海グランドホテル)
28日(金)	8:30~16:30	第6回遊技産業マネジメント・カレッジ(晴海グランドホテル)

加盟状況」「資金運用状況と運用継続」「東日本大震災被災状況」「貯玉貯メダル再プレー実施状況推移」「事務局規定の一部改正」「事務局員退任」の6件が了承された。引き続き第7期社員総会が開かれ、第1号議案として「相談役の新設」に関する定款の一部改正が承認され、同日実施を決めた。

中古機流通協議会

新委員長に阿部恭久氏
6月の稼働状況などを報告

第79回中古機流通協議会は8月7日、全日遊連会議室で開かれ、金本正浩委員長（全日遊連前副理事長）の退任に伴い、阿部恭久全日遊連副理事長を全会一致で委員長に選出した。

6月の中古用、認定用の確認証紙発給状況が報告され、パチンコの中古用稼働実績は、5万823件（対前年比93%）、9万9720台（同96%）。このうち販売が54%、チェーン店移動が46%だった。認定申請は1547件6072台だった。

一方、回胴式の中古用稼働実績は、2万261件（同128%）、4万8420台（同146%）。このうち販売が56%、チェーン店移動が44%だった。認定申請は681件3922台だった。

日遊協から、より受講者の便宜をはかる「遊技機取扱主任者に関する規定の一部改正」が報告された。日工組からは、パチンコ及び回胴式遊技機の製造番号表・証紙から月番号を削除することになった。

た旨報告された。また、2県の「入れ替え自粛」の報告があった。福岡県は、第32回国際泌尿器学会総会に伴い9月15日から10月4日まで申請等を自粛、9月16日から10月10日まで新台寝台検査等を自粛

香港上場経過を説明
佐藤洋治社長

(株)ダイナムの
佐藤洋治社長

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会（PCSA）は8月23日、東京・品川のザ・グランドホールで公開経営勉強会を開き、(株)ダイナムジャパンホールディングスの佐藤洋治代表取締役社長が、「香港証券取引所上場までの経緯」と題して講演した。

同社は8月6日、香港証券取引

所メインボードに上場された。ホール経営企業の上場は世界初。同社は香港を選択した理由に、①香港は世界基準によって評価されており、香港で上場することによって同社が世界基準の評価を得られる。②将来の拡大を考えたとき、中国を含むアジアへのビジネスの展開では香港がベスト——などを挙げていた。

「審査は国際基準で」

佐藤氏は「上場に際して三店方式と「クギ」が最後まで尾を引いた」と述べた。申請書の作業を昨年6月から始め、今年1月13日に提出した。その間、弁護士事務所7社、財務会計関係10社、証券



阿部恭久新委員長

会社3社、その他7社と直接契約して作業を進めた。また、香港の法律と整合性を持たせるために定款の80%を書き換えた。申請書に対する審査は国際基準に照らして厳格に行われた。7月24日に審査が完了し、目論見書が公開されて一般公募が始まった。「香港での公募は10%、残り90%は世界の投資家を買っていたたくグローバル・オフアリングなので、2週間かけてシンガポール、ロンドン、ニューヨークなどの大口投資家、投資顧問会社など70か所を回り、パチンコを理解してもらうことから始めて根気よく説得した」という。

とくに同氏は「『ホール企業は上場に該当しない』という日本の『風評』のために、幹事証券がなかなか見つからなかった。しかし、香港では国際基準に則ってきちんと手続きをすれば、非常に厳しさがきちんと審査をする。審査以前に受け付けない日本の行き方はおかしい」と批判した。さらに、「今回の上場が、この業界が社会と調和し、社会から評価されて継続して残っていくきっかけになればと思う。それには上場する仲間がもっと必要だ」と強調した。



講演をする佐藤洋治氏

220人参加のディスカッション。ファンからも多くの意見が出された



「8・4パチスロ元氣祭り」盛大に

識者とファンが意見交換

アントニオ猪木さん「闘魂注入」

パチスロ文化への正しい認識と理解を深めてもらうため、日本電動式遊技機工業協同組合(日電協)

と回胴式遊技機商業協同組合(回胴遊商)は8月4日、東京・秋葉原の秋葉原UDX アキバ・スクエアで

「8月4日はパチスロの日『パチスロ元氣祭り』」を開いた。当日は一般ファン約220人が参加したパネルディスカッションやアントニオ猪木さんをゲストに迎えたステージアトラクションを楽しんだ。

主催者を代表して、日電協・里見治理理事長は「昨年の大震災からまだ精神的に立ち直れない部分もあるが、パチスロを楽しんで元気になってもらえればと思います」、回胴遊商・伊豆正則理事長は「パチスロを大衆娯楽として認知していただき、この業界を社会に影響力ある産業に育てていきたい。これからもいろいろな形で

声をいただきながら、新たなファン獲得にがんばっていきます」と、それぞれ挨拶した。

パネルディスカッションは、パチスロの更なる楽しみ方、面白さの再認識をテーマに、ライターのういち、嵐の両氏、篠原菊紀諏訪東京理科大学教授、日電協・回胴遊商の関係者が壇に上がり、会場のファンと意見を交換した。

歴史などパネル展示

ステージアトラクションはアントニオ猪木氏と今回のイベントのために結成された「パチスロガール」4人が登場、猪木氏のおなじみの「闘魂注入」で盛り上がった。隣接のスペースには、パチスロの歴史や東日本大震災支援活動の報告がそれぞれパネル展示されたほか、アンティーク・スロットマシンの展示なども行われた。また、特賞に「シンガポール3泊5日」が当たるオープン形式のクイズ「ドリームキャンペーン」が展開された。

「パチスロの日」キャンペーンは2010年から行われて今年で3年目だが、昨年は大震災復興支援活動に集中したため、実質的なイベントは今回が2回目となる。

開場前からたくさんのお客様で溢れた



ゲストの猪木さんの「1,2,3,ダー」で会場は大盛り上がり。黄色いウエアはパチスロガール



健全化推進機構に感謝状

警察庁が立入検査業績を評価

遊技産業健全化推進機構は「ばちんこ営業所への立入検査等を通じ遊技機の不正改造事犯等の抑止・檢舉に積極的な協力をし善良の風俗の保持に多大な貢献をした」ことが認められ、警察庁・岩瀬充明生活安全局長から感謝状が贈られた。贈呈式は7月13日、古谷洋一同保安課長らも出席して警察総合庁舎で行われ、岩瀬局長が感謝状を読み上げた後、同機構の伏見勝専務理事に手渡した。

東京都・関東支部が第5陣

南三陸町へボランティア隊

東京都・関東支部のボランティア隊7人が8月29日、宮城県南三陸町でのボランティア活動のため出発した。一行は30・31日の2日間、作業を行う。東日本大震災被災地への同支部のボランティア隊派遣はことし第5回目。日遊協全体としては6回目となる。

「日遊協のご案内」小冊子の改訂版発行

日遊協を外部の人たちや入会希望の人たち等に説明するための小冊子「日遊協のご案内」の改訂版(写真)が8月下旬に完成、各支部に配られた。改訂の理由は、6月の通常総会で4専門委員会とPT(プロジェクトチーム)からなる新体制がスタートしたため。

小冊子は蛇腹折りで、表紙を含めて10ページ。深谷会長のあいさつ、

古谷洋一警察庁保安課長の談話、日遊協の活動、日遊協の組織、日遊協のビジョン(平成20年通常総会で採択)、入会の案内等で構成されている。



中部遊商と情報交換

ゴト巧妙化の実態など報告

中部支部セキユリティー対策部会及び中部遊商との情報交換会議が7月31日・名古屋市・アイリス愛知で開催、中部支部からは山口悟支部長、足立利美部会長ら24人、中部遊商から河合敏夫セキユリティー委員会委員長ら4人が出席した。「LEテック製のCPUを使用して

いる機種に被害が集中している」「不正な基板の発見が難しくなっている。はんだ付け、かしの開封もより巧妙に」「磁石などローテクゴトの情報が多くあがる」などの情報が報告された。

会員・業界消息

代表者変更

株式会社レジャー情報新聞社
代表取締役社長・鈴木仁
7月18日

株式会社アミューズメント企画
代表取締役社長・中野将貴
8月

事務所移転

関西遊技機商業協同組合

大阪市浪速区元町1・5・7

ナンバビル7階

(電話、ファクス変更なし)

9月18日

株式会社プロバ

広島市安佐南区相田1・1・33 3F

TEL082・8700・3440

FAX082・8700・3195

8月28日

日拓ホーム株式会社

東京都渋谷区南平台町16・17

住友不動産渋谷ガーデンタワー20F

TEL03・3464・1111(代)

FAX03・3464・1112

9月3日

藤田 博氏(日電協相談役)

8月26日午後8時過ぎ、肺疾患のため東京都調布市、杏林病院で死去。

76歳。告別式は同月30日、立川市、セレモアつくば立川会館で行われた。

喪主は妻、竹子氏。

DATA SPOT

止められない店舗数の減少

全日遊連は8月27日、店舗数、遊技機台数の2012年7月分を発表した。店舗数は、前月比で5軒減って1万1222店となり、昨年7月(1万1336店)と比べてもこの1年間で114店と大台の減少となっている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万1107台(昨年7月288万3262台)と低落が続き、パチスロ機はプラス10万952台(昨年7月130万321台)と堅調である。これで、パチスロは昨年4月から16か月連続で前月比増を続けている。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	228	+2
東北	512	+2
東京	515	+5
関東	1478	+13
中部	435	+2
近畿	802	+1
中国	275	0
四国	138	+4
九州	588	-1
全国計	4971	+28

(2012年7月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,332	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137 (14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144 (23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134 (14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	16	28	134 (12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397
6月	11,227	11	34	138 (21)	2,825,019	1,395,141	160	4,220,320
7月	11,222	14	26	131 (12)	2,822,155	1,401,273	160	4,223,588